

第3回吹田市政策会議開催結果について

日時:平成28(2016)年5月9日(月)11時00分～12時00分

場所:特別応接室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員9名の出席

(市長、春藤副市長、池田副市長、総務部長、行政経営部長、税務部長、会計管理者、消防長、川本理事(総合計画担当))

○案件名	○担当及び関連する部局名
吹田市第4次総合計画の策定方針について	行政経営部 (企画財政室)
○審議内容と結果	
【案件概要】 第3次総合計画を策定して以降の課題に対応し、各分野における取組を総合的かつ計画的に推進する指針とするため、また、各分野の個別計画との連動及び進行管理体制の整備を促進し、効果的かつ効率的な施策・事業の実施を推進するため、第4次総合計画を策定します。	
【所管部の考え方】 新たな総合計画を可能な限り早期に策定する必要があることから、平成30年度を計画初年度とした第4次総合計画を策定します。 また、策定に当たっては、「現状分析及び地域特性の把握」「実効性・実現性の確保」「新たな課題への対応と魅力の向上」「多様な主体の参画」といった視点を踏まえ、検討を行います。	
【審議事項】 吹田市第4次総合計画の策定方針について、御審議いただくものです。	
【審議結果】 行政経営部企画財政室より、資料に基づき審議事項の内容について説明があり、その後質疑応答を行った。 質問…第3次総合計画の見直し時の課題、議会からの指摘などについて。 答え…見直し時は、策定過程に問題があり、議会のご意見を聞き、反映する機会が不十分であったとの指摘を受けた。今回は、特別委員会の設置も予定されており、議会のご意見を十分に聞くよう努める。 また、地域別計画の必要性についても指摘を受けた。分野により、適切な圏域設定が異なることから、総合計画においては、地域別計画の策定を想定していないが、地域ごとの課題や特徴などを整理し、それに対する取組をまとめることなどについて、審議会にご意見をいただきながら、策定委員会で検討していきたい。 質問…計画期間についてはどのように考えているのか。 答え…第3次総合計画は、15年間の計画期間であったが、期間が長かったため、現状の課題に対応できていないなどの課題があることから、第4次総合計画の期間は10年間とする。また、計画期間を市長の任期に合わせている自治体もあるが、本市においては、市長の選挙公約等は実施計画に反映するなどにより対応する。 質問…計画の冊子(媒体)はどのように考えているか。 答え…分野別の各個別計画と連動させ、それらを取りまとめた内容をイメージしており、誰がみても、分かりやすく、また見てもらえるものにした。 質問…個別計画を取りまとめるということは、個別計画が変われば、総合計画も変わるということか。どの時点でそれらの修正や見直しを行うのか。 答え…総合計画と各個別計画との連動の手法等については、今後、策定委員会等で検討し、整理していく。 指示…市としての大きな方向性は変わらないが、分野ごとの取組内容や基礎データは毎年変化する。「動く総合計画」として、時点に応じた対応ができる総合計画のイメージを持って整理していくこと。 まとめ…本案件については承認された。手続きを進めることとする。	